

講座名	糖尿病・生活習慣病予防講座	
代表者	特任教授	山口聡子
構成員	特任講師	岡田啓
	特任助教	井上玲子
	届出研究員	倉川佳世
	届出研究員	新家裕朗

【 講座概要 】

当講座は、国民の健康増進に資することを目的に、腎臓・内分泌内科と糖尿病・代謝内科を協力講座とし、朝日生命保険相互会社との社会連携講座として 2018 年 4 月に開設した。糖尿病や生活習慣病の発症・進展・重症化、また介護に至るまでの因子を同定することにより、生活習慣病、ならびにこれらにより引き起こされる疾患の発症および重症化の予防、さらには要介護者の減少につながると考えられる。当講座では、様々な医療データベースを多角的に解析し、生活習慣病の発症から進展・重症化、また介護に至るまでのシームレスな研究に取り組んでいる。

【 研究内容 】

糖尿病をはじめとする生活習慣病は、脳血管疾患、心疾患、がんなどの疾患を引き起こすリスクとなり、要介護の要因にもなる。当講座では、超高齢社会において、健康寿命の延伸のため、生活習慣病の発症、進展・重症化、介護に至るまでの要因について解析を行っている。

(1) 介護に関する研究

大規模データベースを用いて、要介護にいたるリスクファクターの同定を行っている。

(2) 糖尿病の受診中断および未受診に関わるモデルの構築

糖尿病においては、未受診や受診中断が大きな課題となっており、未受診者を早期に医療へつなげること、および受診中断を防ぐことは、合併症予防の観点から重要である。

商用の特定健診の結果およびレセプト情報を含む大規模データベースを用いて、糖尿病の受診中断に関わる因子の同定、健診で糖尿病を指摘され受診勧奨されたにも関わらず受診しない集団を予測するモデルの構築、受診中断と心血管イベントの発生の関連性についての解析などを行っている。

(3) コロナ禍の他疾患への診療の影響に関する研究

コロナ禍は医療全般に大きな影響を与えた。これらの影響を評価することは、将来のパンデミックに備える上でも重要である。

レセプト情報を含むデータベースを用いて、コロナ禍が入院診療、外来診療、内視鏡、リ

ハビリ、処方などに与えた影響についての俯瞰的な評価、コロナ禍および5類移行がCOVID-19以外の呼吸器疾患に与えた影響についての評価などを行っている。

本研究は、厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 JPMH20CA2046、厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 JPMH21HA2011, JPMH23HA2011, JPMH24HA2015、日本医学会連合研究推進費(新型コロナウイルス感染症による医学・医療・健康に与えた影響調査)の助成を受け実施した。

上記以外にも、慢性腎臓病に関する研究、脂肪肝に関する研究、がんの治療における時間毒性に関する研究など、幅広い研究を行っている。

【今後の展望】

今後も引き続き、協力講座、共同研究先の講座と連携しながら、各種の大規模データベースを用いて、糖尿病やがんなどの発症や重症化、介護にいたるリスクファクターの同定、予測モデルの構築に取り組んでいく。

【令和7年度活動実績】

<論文・著書>

■ 英文論文（全て査読付き原著論文）

1. Yamaguchi S, Okada A, Ono S, Inoue R, Kurakawa KI, Sunaga S, Yamauchi T, Nangaku M, Kadowaki T. Impact of the COVID-19 pandemic and COVID-19 downgrade on non-COVID-19 respiratory diseases in Japan. *Public Health*, 2025; 243:105719.
2. Yamaguchi S, Atarashi T, Okada A, Inoue R, Nasu S, Yamauchi T, Arase Y, Aizawa T, Nangaku M, Kadowaki T. Impact of the COVID-19 pandemic on health check-ups before and after the COVID-19 downgrade and employees' mental health at health check-up facilities: The third nationwide survey of healthcare facilities in Japan Society of Ningen Dock and Preventive Medical Care. *JMA J*, 2025;8(3):911-924.
3. Okada A, Otsuka Y, Inoue R, Hashimoto Y, Kurakawa KI, Yasunaga H, Nangaku M, Yamauchi T, Yamaguchi S, Kadowaki T. Adherence to physician visits for diabetes care and cardiovascular disease risk: A retrospective cohort study using an administrative claims database. *Diabetes Obes Metab*, 2025;27(8):4590-4593.
4. Hiraoka M, Uekusa H, Okada A, Inoue R, Ikeda-Kurakawa K, Otsuka Y, Namiki D, Yamamoto R, Yamauchi T, Nangaku M, Ohe K, Yamaguchi S, Kadowaki T. Relative survival among cancer survivors enrolled in private cancer insurance in Japan, using the internal insurance-enrolled population as the reference. *Int J Clin Oncol*. 2025;30(11):2178-2191.
5. Okada A, Honda A, Yamaguchi S, Inoue R, Kurakawa KI, Yamauchi T, Chikuda H, Kadowaki T, Nangaku M. Preoperative rehabilitation and in-hospital mortality in delayed hip fracture surgery: a nationwide cohort study with stratification by kidney function. *BMC*

Geriatr. 2025;25(1):828.

6. Inoue R, Yamaguchi S, Okada A, Yamauchi T, Kadowaki T, Nangaku M. Allopurinol Versus Febuxostat Use and the Risk of Cardiovascular Disease in People With Chronic Kidney Disease: A New-User Active Comparator Cohort Study. *Nephrology*, 2025; 30(11):e70149.

<学会・講演会発表>

■ 国内学会

1. 井上 玲子、岡田 啓、山口 聡子、山内 敏正、門脇 孝、南学 正臣
「高齢の糖尿病非合併慢性腎臓病患者に対するダパグリフロジンの安全性」第68回日本腎臓学会学術総会 2025年6月20日～22日、横浜(ポスター発表)
2. 新家裕朗、山口 聡子、関 倫久、岡田 啓、河添 悦昌、大江 和彦、山内 高弘 Time Toxicity of CRT Plus Durvalumab Maintenance in Unresectable Stage III NSCLC: a Nationwide Claims Database analysis 第23回日本臨床腫瘍学会学術集会 2026年3月28日(ポスター発表)

■ 国際学会

1. Akira Okada, Yoshihisa Miyamoto, Reiko Inoue, Kayo Ikeda Kurakawa, Toshimasa Yamauchi, Takashi Kadowaki, Satoko Yamaguchi, Masaomi Nangaku Heterogeneous reno-protective effects of hypoxia-inducible factor prolyl hydroxylase inhibitors versus erythropoietin-stimulating agents in kidney dysfunction: a target trial emulation with causal forest using real-world data. The ISN World Congress of Nephrology 2026, 2026年3月28日～31日、横浜(ポスター発表)